

## アパリ会員入会のご案内

アパリの運営・活動資金は会員の善意によって支えられています。

アパリの目的に賛同して入会した個人または団体は正会員に、この法人の事業を賛助するために入会した個人または団体を賛助会員とします。

ぜひ多くの皆様のご支援とご協力をお待ちしております。

正会員 年会費1口： ￥12,000

賛助会員 年会費1口： ￥6,000

### 【アパリ会員入会申込】

年会費（正会員一口 ￥12,000 賛助会員一口 ￥6,000）を郵便振替にてご送金ください。

到着次第、会報などを毎号お送りいたします。

#### 郵便振替口座

口座番号： 00160-7-136870

加入者名： アパリ東京総本部

### お問い合わせ

#### APARI東京本部

〒110-0015

東京都台東区東上野6-21-8

サニーハイツ東上野 1F

電話 (03)5830-1790

FAX (03)5830-1791

受付時間 月～金 10時～18時

特定非営利活動法人  
アジア太平洋地域アディクション研究所  
略称 APARI(アパリ)

APARIは平成12年2月2日にNPO法人として設立されました。

APARIの最も大事な理念は「真の意味での薬物依存症の回復支援を行っていこう」ということです。現在の日本は欧米諸国に比べ、20年以上も薬物対策が遅れているといわれています。しかし、遅れているがゆえに、日本発の、新しい薬物問題に対する取り組みが広がっていく可能性も同時に秘めています。

反対意見もAPARIにとって大切なものとしてとらえ、薬物問題で苦しんでいる全ての方々の声に応えられる組織を目指して進んでいこうと考えています。

#### APARI東京本部

〒110-0015

東京都台東区東上野6-21-8 サニーハイツ東上野1F

電話 03-5830-1790 FAX 03-5830-1791

<http://www.apari.jp/>

e-mail [info@apari.jp](mailto:info@apari.jp)

#### APARI藤岡研究センター

〒375-0047

群馬県藤岡市上日野2594

電話 0274-28-0311 FAX 0274-28-0313

e-mail [apari@mrb.biglobe.ne.jp](mailto:apari@mrb.biglobe.ne.jp)

お問い合わせは東京本部まで

特定非営利活動法人

アジア太平洋地域  
アディクション研究所

APARIは薬物問題で苦しんでいる  
人達を支援するNPO法人です。

TEL 03-5830-1790



特定非営利活動法人  
アジア太平洋地域  
アディクション研究所  
略称：APARI(アパリ)

【Asia-Pacific Addiction Research Institute】

## 事業目的

アパリは、依存症者あるいはこれに類する状態の者及びその家族に対して、薬物を含めた依存症の回復、再発予防について、欧米のみならずアジア、オセアニアなどの国内外の人的ネットワークによる、常に最新の情報とプログラムを提供する事業を行い、また、地域社会に対して啓発活動を行うことによって、人類の平和に寄与することを目的とします。

## 事業内容

- 1、依存症、及びこれに類する状態の調査・研究
- 2、自助活動による回復支援システムの調査・研究
- 3、事故や災害による精神的障害(PTSD)の癒しに関する諸問題の調査・研究
- 4、依存症者及び精神的障害を受けた人に対する職業訓練の実施、並びに社会復帰への支援、及びその家族に対するケースワーク
- 5、家族セミナー、小中高校の保健講話のための講師の派遣等の教育啓発活動
- 6、国内外の研究機関等及び行政機関と協力して地域の住民の啓発を図り、もって依存症問題の減少に貢献する活動
- 7、前各号の諸問題に関するアジア諸国の専門家、とりわけリカバード・カウンセラー(回復者カウンセラー)、ボランティア、及び研究教育等の活動に携わる者の育成及び援助
- 8、滞在型教育研修施設及び虐待されている人のためのシェルターの運営
- 9、前各号の活動の成果を報告する会議の開催

## 司法サポート

再犯率が50%と極めて高い薬物事犯の刑事被告人に対する、日本で初めての再犯防止に向けた薬物研修プログラムです。薬物事犯の初犯者を本人の希望がない限り、薬物問題の専門機関につなげることは非常に困難でした。

そのため、執行猶予期間中に再犯を犯して実刑判決を受けたり、依存症に陥って精神病院の入退院を繰り返すといった悲劇も数多く見られています。本人の更生にとって、何よりも大切なことは、逮捕・起訴というせつかくの機会を有効に活用することです。

APARI藤岡研修センターにおいて、保釈期間中に薬物研修を行います。また、プログラムには保釈期間中の法律相談や個人相談はもちろん、実刑となった場合の受刑中の身元引受なども行います。

### 【薬物研修プログラム】

正しい薬物の知識を得る  
規則正しい生活リズムを取り戻す  
自助グループへの参加  
個別カウンセリング  
アフターサポート

このプログラムは保釈期間中に、薬物依存症についての理解を深め、本人にとって、今後の新しい生活のあり方と新たな価値観を身につけるための契機になることを目的としています。

## 調査・研究活動

薬物依存症からの回復支援について、リハビリ施設、米国ドラッグ・コート制度、自助グループ等の調査・研究活動を行っています。

## 薬物依存症者のリハビリ施設

アウェイクニングハウスはアパリ藤岡研究センター内に併設された、薬物依存症回復のためのリハビリ施設です。

ミーティング(グループ・セラピー)を重視したプログラムを組んでいます。午前と午後1日2回の施設内ミーティングを行い、夜は地元の自助グループに参加する生活を送っています。

標高900Mの大自然の山々に囲まれた施設の中で、精神的な安定を取り戻し、薬物依存症から回復、自立ができるように援助と場所を提供します。

## 海外協力・支援

薬物依存症のリハビリに関するノウハウを、これを必要とする諸外国の関連機関に提供する活動を行っています。

## APARI 公開講座

薬物問題に関するテーマの公開講座を行っています。

講師陣は、薬物問題の第一線で活躍されているカウンセラーや精神科医、弁護士等の方々です。興味のある方や、回復に必要な知識や実践法が必要な方は是非一度、参加してみてください。

## 出版業務

薬物問題に関する出版物を発行しています。